

学内日の過ごし方

現在、私たちは実習2クール目を迎え、日々受け持ち患者さんにとって最善な看護が何かを探究しながら学ばせていただいています。また、事前学習や技術練習を活かしながら、より良い看護技術を提供できるように励んでいます。

週1回の学内日では、看護管理や国際看護、災害看護などの講義や、模擬試験や確認テストなど国家試験対策の学習に取り組んでいます。先日の講義では、実際に臨地で働いている薬剤師や管理栄養士、理学療法士の方々と多職種カンファレンスの演習を行いました。その中で医療者間のコミュニケーションの重要性について学びました。職種ならではの視点を知ることで、視野の広がりにつながり、実習では受け持ち患者さんを様々な視点からみて、患者さんにどのような支援が必要かを理解することに繋がっています。

実習期間中は学内日でしかクラス全員が揃うことがないので、久々に会える嬉しさが大きく学校に行く楽しみが倍になっています。これからも実習は続きますが、友人と切磋琢磨し、患者さんに最善の看護を提供する喜びを感じながら、1日1日を大切に、学生生活を楽しまたいと思います。

30 回生 前半クラス長

—学内日の講義を一部紹介—

患者、家族にとっての最善の関わりについて考える



看護の統合と実践Ⅳ 医療者コミュニケーション
薬剤師、管理栄養士、理学療法士、看護師役を担い、多職種カンファレンスを実践



看護の統合と実践Ⅳ 看護実践と倫理
患者と家族にとっての最善の関わりについてワークで検討